

平成 30 年 7 月豪雨を踏まえた高梁川本川沿川 4 市長との意見交換会 議事概要

日時：令和 3 年 1 月 12 日（火）13：30～14：30

場所：テレビ会議システムによる開催

【市長から出された主なご意見】

- ダムの事前放流については、雨量予測に関する精度向上に加え、降雨状況に応じた柔軟な対応が実施できるよう、実施基準を見直す等の改善を行っていくことが必要である。また、急な大雨の際にも空き容量を確保できるよう平時からの管理やダム放流設備の増強について、検討して欲しい。
- 河川の浚渫、護岸改修や堤防の嵩上げは、支川も含め前倒しをお願いする。
- 7/14 の出水で広瀬地点で氾濫危険水位を超え、避難勧告を発令した。市民から新成羽川ダムはなぜ事前放流を実施しなかったのかという声がある。事前に放流を増やして対応していたこと等の情報を早めに共有してもらえれば、市民への説明も可能であった。
- ダムの効果的な運用を図るため、アンサンブル降雨予測の技術等の導入について検討して欲しい。
- 中電ダムにおける監視カメラ映像の提供に向けご尽力いただき感謝している。ダムの映像を下流域の市にも提供したいと考えており、ダムの監視カメラの維持管理を県、倉敷市、総社市、高梁市で連携して行いたいと考えている。
- 「川の防災情報」の新成羽川ダムの放流情報を参考にすることで、避難勧告の発令なども判断できた。情報をより早く入手し、市民に早い段階で危険情報を提供するため、市で河川監視カメラを設置しているが、県において水位計や監視カメラの増設を支援してほしい。
- 本会が継続されていることに感謝する。次期 5 ヶ年など国土強靱化に関する国への働きかけは首長の役割と考えているので、積極的に我々を利用して欲しい。
- 現在、河道内の浚渫や樹木伐採をしていることに対し、安全度が高まっていることを市民が実感しつつあり、感謝している。この取組を続けることによる、メリット（ダムの事前放流が不要になるくらい）を明確なメッセージとして市民へ伝えるため、「浚渫、樹木伐採の全体計画と現在の進捗状況」、「どの程度浚渫や樹木伐採をすると、事前放流が少なくなるのか、どれだけの安全性が担保されるのか、その相関関係」について、国・県、中電に示してほしい。
- これまで計 4 回の事前放流を実施していただき、我々も事前放流の告知の仕方、受け取り方が上手になってきた。
- 小田川の付け替え工事が約 4 割終わり、国、県の工事の進捗が目に見える形で進んできており、住民も安全度が高まってきていると感じている。令和 3 年度からの新たな 5 か年対策を活用し、浚渫、樹木伐採等の必要な対策をお願いしたい。

- 新成羽川ダムの事前放流による下流河川の水位上昇の影響について、データ蓄積をしていただき、市が沿川住民に具体的な広報ができるよう情報を提供して欲しい。

【河川管理者及びダム管理者からの主な発言】

- 事前放流以外の事前の放流を利水者の理解のもと行って頂いているが、引き続き利水者の理解と協力を得ながら実施していただきたいと考えている。
- 事前放流については降雨予測が重要であり、気象庁と連携し、予測の精度向上に努めていきたい。
- 放流設備の改良は、補助金制度を活用しながら、個々のダムで検討する必要があると考える。
- 事前放流と河川整備の相関関係は、流域全体の安全度に関係するため河川管理者が主体となって情報を整理する必要があるので、ダム管理者とも相談しながら進めていく。
- 防災・減災、国土強靱化のための 5 か年加速化対策では浚渫や河道内樹木の伐採等について必要箇所を調査・検討し、国、県連携して実施していく。
- ダムの放流による河川水位への影響について適宜、情報共有していく。
- 水位計やカメラについては、これまでも増設を行っているが、水防活動や避難判断を行う上で更に増設が必要であれば、個別に調整していきたい。
- 浚渫の事業効果を把握すること、評価することは大切であると考えている。今後は、河道内整備の 5 か年計画をフォローアップし、事業効果や今後の実施計画を検証していく。
- ダムの改修については、高梁川水系の県管理ダムでは構造上、技術的に大きな課題があるので、今後の研究課題である。
- 事前放流の基準の見直しは、降雨予測精度の向上やデータの蓄積が必要であることから、熟度が高まれば、検討を行いたい。
- 小阪部川ダムの放流設備の改修を進めているところ、関係利水者やダム直下流の地域の皆さまとも連携しながら、来年度の運用計画を検討していきたい。
- ダムの監視カメラ映像の提供について、電力の安定供給のためにセキュリティ面での制約が大きいですが、今年の出水期までに何らかの形で実現できるよう検討を進めている。
- 浚渫等の効果に関する検討にあたっては、河川管理者に必要な新成羽川ダム等の情報を提供するなどの連携を図っていく。